

教育長からのメッセージ

神津島村教育委員会
教育長 清水一正

神津島は、伊豆諸島のほぼ中間に位置し、もとは「神集島」と書き、神話に彩られた島です。

神津島は一村一集落で、人口約1750人、約900世帯の島です。

交通は、調布飛行場から飛行機で約40分、竹芝桟橋から高速船で約3時間半です。

島の中央部にそびえる天上山は、標高572mながら、2000～3000m級の景観、植生があり花の百名山・新日本百名山にも選ばれています。

産業は、漁業・観光が主です。漁業はキンメダイやマグロ類を中心に東京都第1位の水揚げを誇ります。

海水浴場水質日本1位にも選ばれた海、日本で2番目の星空保護区認定などは、観光のみでなく、教育活動にも生かされています。



神津島村では学力向上に取り組んでいます。「AIに代替されない仕事」ができる人間を育てたいと思っています。

学校間の連携の柱を、指導法の統一としています。神津島村授業基本モデルを定め小学校、中学校で共通に実践しています。9年間の学びのルールが基本的になることで、子供たちは見通しをもって主体的に学んでいます。

学校以外の学びの場として、「しま子屋」を開催しています。放課後は小学校1,2年生を対象に、基礎的な知識・技能の定着と前頭葉の活性化を目指した課題に取り組ませています。土曜日は小学校3,4,5,6年生を対象に、思考力を育成する良問に取り組ませています。

島の学校で勤務したいと考えている皆様、神津島村では授業改善に正面から取り組んでいます。また地域の大人は子供の学習に極めて協力的です。

AIが生活の中に当たり前に入ってくる社会で、子供たちが「AIに代替されない仕事」に就ける力の基礎を育成しています。神津島で一緒に研究を深めましょう。そして教師としてのやりがいを実感してください。お待ちしております。